

東京病院 ニュース

第 9 号

2005年 1月発行



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院

〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1

TEL 0424 (91) 2111 FAX 0424 (94) 2168

ダイレクト・イン・ダイヤル 0424 (91) 4134

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>

東京病院の新たな門出

皆様、あけましておめでとうございます。昨年は、「災い」の多い年でしたが、今年はこれ乗り越えるよい年にしたいものです。ところで、芭蕉に「不易・流行」という言葉があります。これは「世の中には変わるものと変わらないものがある」ことを意味するものでしょうが、このことは芸術の道だけでなく病院の場合にもあてはまるように思います。なぜなら、医療施設には伝統的な特色を伸ばすとともに、いつも新たな分野を充実させることが求められているからです。東京病院は、従来、わが国でも有数の呼吸器疾患や結核の専門病院として知られてきましたが、近年の清瀬市の住宅都市としての発展などに伴い、これからは地域医療など一般医療の分野で活動のわくを広げることが期待されるようになりました。さいわい、この数年間の整備計画で病棟・外来棟をはじめ院内が一新され、ハードウェア的に近代的病院に生まれ変わりました。当面の最大の課題は、入れものにふさわしい診療内容に拡充させることです。また、これと軌を一にして、病院が従来の国立医療施設の枠から離れて、全国組織の「独立行政法人国立病院機構」の傘下の病院になりました。これに伴って独立採算が求められ、財政的には大変きびしい状況になりましたが、新たな社会的ニーズに応えるべく、内容の充実を目指していつそうの努力をしていきたいと思えます。

さて、よい医療には優れた技術が必要なことはいうまでもありませんが、病院は同時に皆様に利用して頂きやすいものでなければなりません。内からは気がつきにくいことですが、かつて門から玄関までに距離があったこともあり、東京病院には「敷居の高いつと」というイメージがあるようです。中に入っていたければそのようなことはないことがおわかりいただけると思えますが、これからは必要なときに利用していただき易い病院に、また、気軽に患者さんをご紹介いただける病院になるよう、努めたいと思えます。

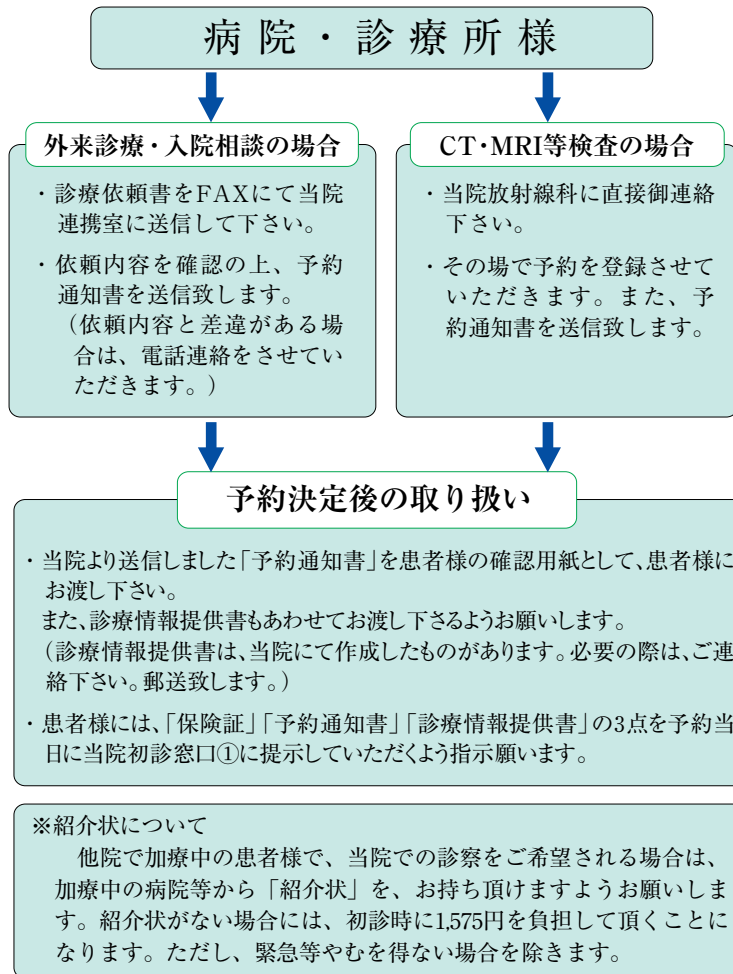
東京病院は、桜、ケヤキ、楓などの自然に恵まれた環境にあります。療養生活をおくっていたときに、これらのよき環境は患者さんを力づける大きな助けとなることでしょう。これからのような当院の特色を評価していただけるよう、ますます努力していきたいと思えます。

病院長 四元秀毅

医療連携室よりお知らせ

受診前日 8 時30分から午後 3 時30分までに診療依頼書をFAXでお送り頂ければ、受診日と予約時間をお知らせします。当日はカルテをご用意してお待ちしております。患者様は予約日に、初診窓口にお越しください。

〈患者様のご紹介方法について〉



☆ 医療連携室 ☆

電話(直通)	0424-91-2934
(病院代表)	0424-91-2111
FAX(専用)	0424-91-2125
受付時間	午前 8 時30分～午後 3 時30分 (土・日・祝日及び 年末年始の期間を除く)

医療連携室スタッフ一同


在宅酸素の会(HOTの会)開催

当院は、在宅酸素療法患者の教育と日常生活の質の向上を図ることを目的とする「東京病院在宅酸素の会」を実施しています。呼吸器科医師・看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー、企画課職員がメンバーとなっており、毎年2回(春と秋)会合を開いています。内容は、医師による講演と各職種の職員による話、リハビリ学院の教官による運動療法の話や呼吸リハビリの実際などで、ボランティアによる演奏が行われることもあります。当院で在宅酸素療法患者として登録している方は290名、鼻マスク間欠的陽圧人工呼吸(NPPV)療法患者として登録している方は50名です(平成16年7月現在)。

去る10月28日に第20回目のHOTの会がありました。今回は、以前当院に勤務しNPPVを導入、現在の基盤を作った国立病院機構南京都病院の坪井医師による睡眠呼吸障害の講義、当院ソーシャルワーカー遠藤氏による社会福祉制度についての話、リハビリ学院中山教官による呼吸リハビリについての話でした。参加人数は45人で、在宅酸素療法を受けている方とそのご家族、NPPV療法を受けている方の参加がありました。入院中の方も外来通院中の方も参加され、講師への質問や参加者同士の意見交換もあり終始和やかな雰囲気でした。NPPVの設定と症状の関係など専門的な質問や、体操のやりかたを工夫して体力維持に努めている話など、酸素とつきあいながら積極的に生活している様子がよくわかりました。次回の開催は平成17年5月26日(木)の予定です。皆様のご参加をお待ちしています。


シリーズ・ドクター紹介

- ①診療案内 ②出身地 ③趣味及び特技 ④モットーとする言葉 ⑤好きな食べ物 ⑥その他メッセージ




①麻酔科
②広島県広島市
③ゴルフ
④バランス感覚
⑤お寿司・フライドチキン
⑥麻酔の安全性を確保しつつ、術後の疼痛軽減を目指したい。

はしもとけん
橋本賢
(麻酔科)




①眼科
②岡山県岡山市
③読書・映画鑑賞
④平常心
⑤カレー・うどん
⑥信頼される医療を目指します。

やまだひでゆき
山田秀之
(眼科)




①呼吸器内科
②東京都
③音楽・映画鑑賞・ギター
④信頼と責任
⑤フルーツ
⑥呼吸器特にアレルギー疾患のエキスパートを目指します。

おおしまのぶはる
大島信治
(呼吸器科)




①リハビリテーション科
②愛知県名古屋市
③テニス・スキー
④石橋をたたいて渡る
⑤みそかつ・エビフライ
⑥お役に立てることがあれば貢献して行きたいと思います。

おざわりゅうぞう
小澤竜三
(リハビリテーション科)



①呼吸器内科
②東京都世田谷区
③音楽
④熱情
⑤カキ（海でとれる）
⑥患者本位の医療を目指して頑張ります。

ありがはるゆき
有賀晴之
(呼吸器科)



①リハビリテーション科
②大分県中津市
③カメラ等
④初心忘るべからず（願望）
⑤麺類
⑥いろいろと厳しい情勢ですが、努力してゆきたいと思います。

あらおとしひろ
荒尾敏弘
(リハビリテーション科)

新人紹介



管理課庶務係
朝倉祐介

2004年4月1日より、東京病院管理課庶務係に採用になった朝倉です。採用になって8ヶ月、職場の環境にもようやく慣れたように感じます。至らない点はまだありますが、より良い病院作りを心掛けていきますので、どうぞよろしくお願いします。



企画課財務管理係
刈田浩介

「私は、平成16年4月に東京病院に企画課財務管理係として配属されました。名前からはわかりずらいですが、主な仕事は会計のお支払い窓口とそれに付随しての業務です。窓口を担当した当初はなにも初めてのことでとまどいの連続でしたが、日々の仕事の中で患者様に接しそこから様々なことを学び、また職場の方々に支えられ半年を過ぎた現在ようやくこの仕事にも慣れてまいりました。今後は、事務の中でもっとも患者様と接する機会が多い窓口を担っているということで病院の顔の一つであるという責任をかみしめ、患者様に対するサービスの向上をはじめよりよい東京病院にしていくために努力していきたいと思えます。よろしくお願ひします。

看護の日

毎年、5月12日のナイチンゲールの誕生日を記念し全国各地で様々な催しが開催されています。当院の看護研究会では5月21日（金）に石原恵実行委員長を中心に「看護の心をみんなの心」をテーマとして記念行事を行いました。

午前中は、毎年チェックカードが不足する程盛況の「健康チェックコーナー」、「介護用品・栄養食品展示」では業者と栄養士の方達と実際の品物を見て触れて楽しみながらそのすごさや有り難さを再認識しました。「お茶のサービスクーナー」ではほっと一息入れていただきながら院内の散策スポットなどの「ポスターによる紹介」を行いました。午後には外来待合いホールに於いてボランティアの石井さん達によるピアノとコーラスの「ミニコンサート」を催しました。患者様とご家族の皆様約100名参加し、生の音楽の素晴らしさを満喫していただけたと思います。

看護研究会の委員達は、普段各職場で限られた患者様とご家族と接してありますが、看護の日の行事を通してたくさんの方々に接することが出来、率直な意見や素敵な笑顔をいただき貴重な経験をさせていただきました。今後、この成果を日頃の看護に活かし患者様に満足していただけるよう学んでいきたいと考えております。参加、協力いただいた関係者の方々に感謝いたします。

看護研究会会長 看護師長 渡部祐子



栄養食品展示



コンサート



管理課厚生係 前島拓人

新人紹介

◆ ◆ ◆
 去年の4月1日より東京病院管理課厚生係に採用になりました前島です。
 早いもので採用になってからもうすぐ一年、初めのころは戸惑っていた仕事も今はだいぶスムーズにできるようになってきました。
 これからもより良い病院作り、そしてはやくて正確な仕事を目指し、頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



健康チェック

東京病院の史跡

樹齢70年を超えるケヤキ並木

不治の病と恐れられた結核で入院した結核患者を最初に迎えた並木道

当院は、昭和14年に陸軍傷痍軍人病院として発足。清瀬市近辺の村から青年奉仕団をつのり、駅から当院までの道を切り開き、当時としては珍しいコンクリート舗装道が作られた。院内の雑木林は整地され道路からの引き込みの道として今のケヤキ並木が作られた。昭和18年当時患者が描いた鳥瞰図ではやつと人の背丈を超えるぐらいであった。

当時これに接して広場があり草野球で球がケヤキの列を超えればホームランだったという。

現在は正面玄関を北方向としたため、車の出入りもなく武蔵野の面影を残す静寂な散歩道となっている。



中越震災医療救護隊派遣

平成16年10月23日に発生致しました新潟県中越地震の被災地に国立病院機構本部からの要請により、東京病院からも災害医療班(西埼玉中央病院の合同班)を派遣致しました。その活動についてご報告致します。

テレビ・ラジオ等で現地の情報はありましたが、亀裂もしくは崖崩れしている高速道路・一般道路や倒壊または半壊している家屋等を目の当たりにして震災の被害の大きさを改めて実感しました。その頃現地では、電気、水道は使用可能になっておりましたが、ガスは依然として復旧されていない状況でした。

東京病院の医療チームは有賀呼吸器内科医師、亀崎副看護師長、深田看護師、三田主任薬剤師と私の5名で編成され、西埼玉中央病院の3名と計8名で、避難所の1つであります小千谷市総合体育館に派遣されました。そこでは国立病院機構と日本赤十字社などのスタッフが協力し地元のみならず、医療救護にあたります。協力といえ、現地の小千谷市関係者とのコミュニケーションも非常に重要でしたし、地元の医療機関との連携も考え心がけながらの活動となりました。

私たち派遣の順番が地震発生から3週間程経過していたためか、重症の患者さまというよりは風邪などの症状で比較的重症の患者さまが多かったようです。しかし避難所生活の長期化に伴い心身共に疲弊されている様子が支援活動を通じて垣間みられました。これからもその内容は変わっていくでしょうが、医療も含めた様々な支援の必要性があるかと思えます。

被災された皆さまが一刻も早く落ち着いた生活に戻れることを心よりお祈り申し上げます。

医療福祉相談室 医療社会事業専門員
遠藤 卓

自衛消防隊をどう存続ですか?

今年、台風や地震などの災害の多い年でした。災害への備え、意識が年々高まっており、各家庭、企業、団体などにおいても災害への対策が採られていることと思います。地域企業、病院などの施設において、火災をはじめとする災害が発生したときに、地元消防署と協力して初期消火、避難誘導に当たる部隊の活動として自衛消防隊が結成されています。

日頃から災害への備えを怠らぬよう、わが東京病院でも、防災センターに加え、毎年職員から代表者を選出して消火防災訓練にあたっています。

そうした各施設、団体のためまぬ訓練の成果を発表する場として、去る10月26日、雨の降りしきる中、清瀬水再生センターの敷地において、今年も清瀬消防署主催の「自衛消防訓練審査会」が執り行われました。

審査会では、実際に消火栓を使って放水する火事本番さながらの模擬演技をし、その演技の正確性、的確性、迅速性をもって評価されます。

火災発生を知らせる報知器が作動し、ベルの音が鳴り響きます。自衛消防隊は現場へ急行、火元を確認するや消火器による初期消火を試みます。避難誘導も同時進行でマイクを通して放送します。しかし、火勢は増す一方!消火器による消火は不能となります。そこで電話をつかみ119番通報、こんどは屋内消火栓を操作、長いホースを持ってひた走り、消火標的に向かって放水し消火にあたります。その後ほとんどなくして消防署が到着、現況を報告し消火活動を引き継ぎます。その間の身のこなし、発声のとおり具合



なども評価の対象として審査されます。

東京病院は、男子2名による男子隊、女子2名による女子隊の2チームが参加しました。結果は男子隊が2号消火栓による部で見事準優勝、女子隊は優秀賞という優秀な結果を収めることができました。

この結果に甘んじることなく、これを励みにますます日ごろの防災意識を高め、訓練を続け、患者様ならびに地域の皆様に安心していただける東京病院を目指して行きたいと決意を新たにしました。

企画課契約係 水谷周

消防訓練 「火事だ〜」

平成16年11月2日(火)晴れ、15時00分。独立行政法人国立病院機構東京病院3東病棟患者食堂より出火。

防災センター職員は、現場確認及び所轄消防署への連絡を実施せよ。

自衛消防隊は大至急現場に向かい初期消火を実施せよ。

避難誘導班は患者様の安全を第一に考え、3西病棟に迅速に避難誘導をさせよ。



防火管理者 岡田睦

火災を発見した看護師、院内放送と同時にヘルメットをかぶり、本部の防災センターへ走る院長を始めとする幹部の面々、避難誘導をするドクター、看護師、火災の情報収集に走る事務職員、本部へ患者数報告に走る各病棟師長等々。

東京消防庁の出動車両、指揮隊車1台、はしご車1台、ポンプ車3台、救急車1台、消防隊員35名。

15時20分、自衛消防隊より引き継いだ東京消防庁清瀬消防署隊員により火災鎮火。

負傷者及び逃げ遅れなし。全職員一同ホッとした瞬間でした。

これは消防法で「年2回以上実施しなければならぬ」と義務づけられている消防訓練の実施状況です。

今回、11月9日からの全国火災予防運動週間に先駆け清瀬消防署と当院で綿密な調整を行い、各職場代表者との打ち合わせを繰り返しこの日の消防訓練を実施しました。

みなさん、頭では分かっているも行動が伴わないものです。普段から非常時に備えて心と体の準備をお願いします。

シリーズ呼吸器疾患

肺炎球菌ワクチンで肺炎を予防しましょう！

[1] 意外に多い肺炎死

日本人の三大死因といえば、がん、脳血管疾患、心疾患ですが、それに次ぐ第4位が肺炎であることは、意外と知られていません。抗生物質の発達などで減少しつつあった肺炎の死亡率は、ここ数年、増加傾向にあり、2003年には約9万5千人の方が肺炎で亡くなっており、その95%は65歳以上の高齢者です。

[2] 肺炎球菌による肺炎

肺炎の原因となる病原体は数多くありますが、特に病原性の強いのが、肺炎球菌です。しかも高齢者の肺炎の原因菌の約半数を占めています。特にインフルエンザの季節になりますと、インフルエンザから肺炎を合併することがあり、その場合、肺炎球菌による肺炎が多く、非常に重症化しやすいことが分かっています。

[3] 肺炎球菌ワクチンによる予防

肺炎球菌による肺炎の予防として、肺炎球菌ワクチンの接種が有効です。特に65歳以上の高齢者や心臓や呼吸器に慢性疾患のある方などに、予防接種が勧められています。

特に接種が勧められる人

- 65歳以上のかた
- 心臓や呼吸器に慢性疾患のあるかた
- 糖尿病のかた
- 老人ホームなどの施設利用者
- 脾臓摘出などで脾臓機能不全のあるかた

予防接種を受ける時期と有効期間

肺炎球菌ワクチンは接種してから効果を発揮するまでに1ヶ月ほどかかり

ます。毎年接種が必要なインフルエンザワクチンと違い、肺炎球菌ワクチンは少なくとも5年は効果が持続します。ので、いつ接種しても構いません。しかし、日本では現時点では2回目以降の接種が認められておりません(今後2回目接種が認められると予想されています)。

[4] インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの併用効果

海外の大規模な研究からインフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの両方を接種すると、肺炎の予防に効果があることが分かっています。65歳以上の慢性肺疾患患者に両ワクチンをともに接種することにより、両ワクチンを接種しない場合と比べて、入院リスクを63%、死亡リスクを81%軽減したとの報告もあります。

[5] 日本における接種状況と予防医療

日本では、これまでに約40万人(高齢者の約2%)のかたが、肺炎球菌ワクチンを接種しましたが、高齢者の60%が接種を受けているアメリカに比べるとまだまだ少ない人数です。

しかし、一方で、肺炎球菌ワクチンを公費によって助成しようという動きも出てきています。2004年10月現在、全国の21市町村が肺炎球菌ワクチンの公費助成を行っています。医療の高度化に伴い、国民医療費の高騰が問題となっている現在、予防医療の果たす役割はますます大きな意義をもつようになると思われます。

呼吸器科 永井英明

HIV研修会の開催について

東京病院は、呼吸器の専門病院として知られていると思いますが、エイズの拠点病院として、その診療にも取り組んでいます。最近特にHIV感染症に結核の合併が問題となっていますが、HIV感染症を合併している結核の患者様を診療している数では、全国で最も多い病院の一つとなっています。

また、当院はエイズ治療の最先端医療や治療開発のための臨床研究に取り組んでいるエイズ治療・研究開発センター(ACC)と、連携をとりながら診療を行っております。先日、ACCからの講師を招いてHIV研修会が3日間(9月13・16・17日)開催されました。当院の職員だけでなく、近隣の医療施設、保健所職員も含め、延べ300人以上の参加者があり、HIV診療技術の向上と近隣医療施設との連携を図るよう努めています。

そして、もう一点当院の感染症対策についてご紹介いたします。相次ぐ医療事故、医療過誤等、「医療安全管理」について注目されていますが、その中に院内感染対策も重要な位置づけとなっています。当院では、院長を要として院内感染対策委員会が毎月開催されており、その実働部隊として感染制御部会があります。この部会は、院内感染対策専門医師を中心として、院内感染対策専門看護師2名、細菌検査技師、薬剤師、医療安全管理係長等で構成されたメンバーで毎週活動し、東京病院の院内感染対策に日々奮闘しています。

感染管理認定看護師 宮崎奈保子

東京病院の広い空

東京病院は武蔵野の面影を残す豊富な緑が自慢です。もう一つ自慢できるものがあります。それは、「広い空」です。空が広いのは当たり前ですが、周りに高い建物が無いので、本当に空の広さを感じます。毎日、毎時間、毎分、毎秒、違った空の表情を見ることが出来ます。緩和ケア病棟にご入院中の方たちには、空を見上げる事をお勧めしており、緩和ケア病棟のデイルームには、定期的に東京病院の空の写真を掲示しています。居ながらにして、大自然の変化を満喫できることに気付かれ、緩和ケア病棟では好評です。

皆さんも空を見上げてください。

緩和ケア科 永井英明



新時代のリハ研修会開催

本研修会は独法化を迎えてから初めてのリハビリテーション研修会として、再出発する運びとなりました。本年度は9/6～9/9の4日間、東京病院の大会議室で全国より35名の職員を集めての開催となりました。参加職員は独法施設職員、ナショナルセンター職員、ハンセン療養所職員と、施設間の壁を取り払った参加となりました。また今回の対象となった職種も、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など、正にリハビリテーション現場の第一線で働く職員達が集まりました。

次に研修内容ですが、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などを講師とした専門分野によるもの、また講義内容も急性期～維持期に渡り各施設の業務に合致させたものと非常に内容の濃い、またすぐ各施設業務に反映できるようなものとなりました。

本研修会をこのような形で引き続き開催させて頂きましたことは、今後もしリハに関係する職員全体のスキルアップのため、またリハビリテーションの情報発信の中心地として有り続けるためにも、絶対に継続開催すべきものだ

と、職員一同考えております。なお研修会の資料等につきましてはリハビリテーション科ならびに管理課に保管してありますのでお問い合わせ下さい。

最後になりましたが本研修会開催に当たりまして、御講義を頂きました多くの講師の皆様、ならびにご協力頂いた皆様に心から感謝申し上げます。リハビリテーション科 理学療法士長

廣島勉



職場紹介

薬剤科

お薬をお渡しする薬剤科外来窓口から調剤室の中を覗いたことがありますか。中では、何をしているかって？ そう、処方箋にみてお薬を調合(調剤)しています。

一昔前は、調剤だけに追われて一日が終わってしまいました。今は、大夫自動化され楽になった一面があります。でも、…薬剤科9名の職員が室内を駆け回っているのが現状です。調剤したお薬の病棟への搬送、掃除もゴミ出しも(家では当たり前前だつて…)。

市販されていないお薬は、製剤室で調製します。

お薬として市販する前の臨床薬は、治験薬管理室で対応しています。治験薬管理室には、主任の他治験専門の「CRC」と呼ばれる2名の職員が活動しています。

その他、事務的な仕事としては、当院で採用しているお薬を揃えるために問屋さんに発注、また、採用医薬品とその関連情報をコンピュータに登録します。この登録が、処方薬の基になるので重要です。

昨年は、新潟地震災害の医療支援として、当薬剤科職員1名が派遣されました。

最近では、病室にも薬剤師が何って(病棟の病院職員は、皆白衣を着ていて見分けがつかないでしょうが)、医師の同意を得た入院患者様に対して服用しているお薬の説明をしています。

外来窓口でも、お薬のことでしたらできるだけ対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

薬剤科長 高田一義



専門外来案内

専門外来名	診察日	このようにご悩みの方は、ご相談ください
肝臓	月～金	体がだるい、黄疸や食欲の低下、健診で肝障害のある方、平成4年以前に輸血を受けた方。
呼吸器関係外来	息切れ	月(午前) 動くと息切れがあったり、最近息切れが強くなってきた方。
	喘息	火(午後) 「喘鳴」「発作性の咳」が主な症状です。特に夜間から明け方の咳き込みは要注意です。
	禁煙	金(午前) タバコがどうしてもやめられない方。
	肺がん外来	木(午前) 紹介状をお持ちの方、セカンドオピニオンを希望される方。
	間質性肺炎	水(午前) この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。治療が難しく、膠原病に合併する場合があります。
	非定型抗酸菌症	水(午前) 咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
気胸	火・金	突然の胸痛、息苦しさを感じます。
	いびき	木(午前) ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われたらご相談ください。
手掌多汗症	火・金	今増加している疾病です。手のひら、腋、顔面の発汗が多い症状です。(汗で手が滑る、握手もできないこともあります。)
ものわすれ外来	水(午後)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。(あらかじめ神経内科を受診して下さい。)
高次脳機能外来	木(午後)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など(要神経内科外来受診)。
糖尿病	木(午後)	のどがかわきやすい、体重が減ってきた。(無症状が多いので、健康診断で異常を指摘される場合が多い。)
緩和ケア	木(午前)	末期の悪性腫瘍やエイズによる痛みやいろいろな症状でつらい思いをされている方。
大腸がん	火(午後)・金(午後)	便に血が混ざる、下痢と便秘の繰り返し、便が細くなったなど。

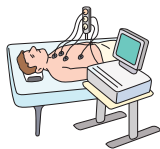
受付時間 8:30~11:00 診療時間 8:30~17:00
休診日 土・日・祝祭日および年末年始(12月29日から1月3日)

代表電話番号 0424-91-2111
内線番号がおわかりの方は0424-91-4134
(ダイレクト・イン・ダイヤル)をご利用下さい

ICU 4床

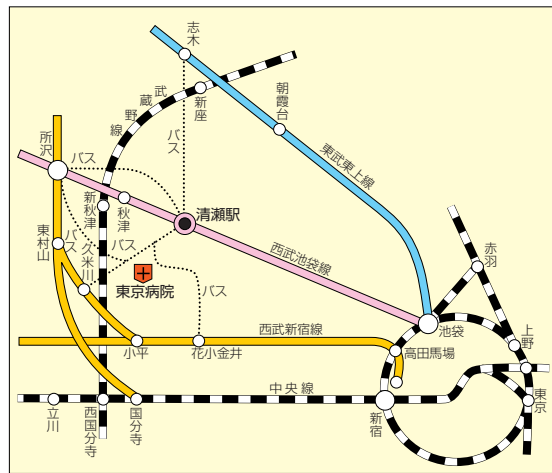
病床数

560床(一般406床・結核150床)



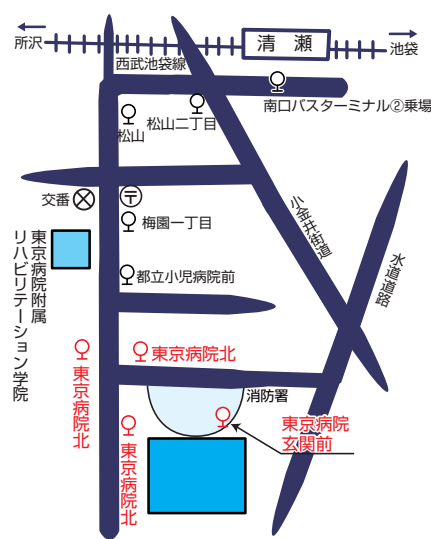
- 呼吸器科
- 消化器科(肝臓疾患)
- 循環器科
- リハビリテーション科
- 神経内科
- 消化器外科
- 呼吸器外科
- 緩和ケア科
- 整形科
- 麻酔科
- 放射線科
- 眼科
- 外科
- ICU(集中治療室)

診療内容



当院の位置

- 西武池袋線 清瀬駅南口下車(池袋から準急25分)。清瀬駅南口からタクシー5分。徒歩20分。
- (西武バス) 南口②番乗り場から久米川駅行・下里団地行・花小金井行・所沢東口行に乗り、六ツ目(約5分)の東京病院玄関前下車。
- 武蔵野線 新秋津駅からタクシー5分。徒歩20分。
- 西武新宿線 久米川駅、花小金井駅、所沢駅東口から清瀬行に乗り、東京病院玄関前下車。
- 東武東上線 志木駅から清瀬行のバス路線があります。



交通

看護師募集中!
(連絡先) TEL 0424-91-2714
FAX 0424-91-2115
電話連絡の上、履歴書を持参下さい。
FAXでの応募も可です。